

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会科学 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三木 俊司
授業の概要				
一般知識の中でも大きな配点を占める政治・経済・社会を基礎から学び、得点源にできる				
授業終了時の到達目標				
各分野で合計8割以上の正解できる				
回	テーマ	内容		
1	政治分野 1. 民主政治の基本原則、主要国の政治制度	法治主義と法の支配の相違 主要国と日本の政治システムの比較と理		
2	経済分野 1. 需要と供給、経済学説、市場	経済の基礎、需要供給理論 完全競争市場と不完全競争市場、市場の失敗		
3	政治分野 2. 日本国憲法	日本国憲法と明治憲法の比較		
4	経済分野 2. 企業、国民所得と景気変動	企業の種類、株式会社、中小企業 GDP, GNP, GNI, NNP, NI, インフレ, デフレ		
5	政治分野 3. 基本的人権(総論)	基本的人権の全体像と意義の理解		
6	社会分野 1. 労働問題	労働三法、労働三権、男女雇用機会均等法		
7	政治分野 4. 基本的人権(各論)	それぞれの権利の理解と具体的事案の理解		
8	経済分野 3. 金融の仕組み、財政の仕組み	金本位制と管理通貨制度、直接金融と間接金融 金融政策と財政政策の違い、直接税と間接税		
9~10	政治分野 5. 国会、内閣、裁判所	国会の役割と仕組みについて理解 内閣の役割と仕組みについて、他の組織との比較 裁判所の役割と仕組みについて、三権分立の仕組みを理解		
11	経済分野 4. 日本経済の発展	戦後復興期、高度経済成長期		
12	社会分野 2. 社会保障、環境問題	日本の社会保障制度、公的年金 地球温暖化、酸性雨、地球サミット		
13	政治分野 6. 地方自治	中央政治との比較、直接民主制について理解		
14	経済分野 5. 国際経済、地域的経済統合	円高・円安、輸入・輸出の関係、固定為替相場制、変動為替相場制 ヨーロッパ統合、ASEAN, APEC等		
15	政治分野 7. 国際政治、国際連合	世界史とのリンク、国際政治と時事問題の理解 国際連合の役割とその組織についての理解		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務教育出版 社会科学テキスト・社会科学演習ブック・社会科学確認ブック		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】本時学習する単位について、テキストを事前に読み、疑問点、質問事項を整理しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会科学演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	27回	1単位(54時間)	必須	三木 俊司

授業の概要

一般知識の中でも大きな配点を占める政治・経済・社会について、講義をもとに、同範囲の各種過去問題を数多く解くことで、実践力をつける。

授業終了時の到達目標

各分野で合計8割以上の正解できる

回	テーマ	内容
1	政治分野 1. 民主主義、政治制度	過去問演習 P 6 ~ P 19
2	経済分野 1. 市場・価格	過去問演習 P 78 ~ P 81
3	政治分野 2. 日本国憲法	過去問演習 P 20 ~ P 31
4	経済分野 2. 企業、景気・物価、経済指標	過去問演習 P 82 ~ P 89, P 120 ~ 125
5	政治分野 3. 基本的人権(1)	過去問演習 P 32 ~ P 37
6	社会分野 1. 労働事情	過去問演習 P 140 ~ P 143
7	政治分野 4. 基本的人権(2)	過去問演習 P 38 ~ P 43
8	経済分野 3. 金融、財政	過去問演習 P 90 ~ P 111
9	政治分野 5. 三権分立(1)(2)	過去問演習 P 44 ~ P 51
10	政治分野 6. 国会, 内閣, 裁判所	過去問演習 P 52 ~ P 63
11	経済分野 4. 日本経済史	過去問演習 P 126 ~ P 133
12	社会分野 2. 社会保障・情報化・環境問題	過去問演習 P 144 ~ P 147
13	政治分野 7. 地方自治、選挙制度	過去問演習 P 64 ~ P 71
14	経済分野 5. 為替・貿易、国際経済	過去問演習 P 112 ~ P 119
15	政治分野 8. 国際政治	過去問演習 P 72 ~ P 76

回	テ ー マ	内 容		
16	総合問題 過去問題演習①	国家一般職過去問題		
17	総合問題 過去問題演習②	国家一般職過去問題		
18	総合問題 過去問題演習③	税務職員過去問題		
19	総合問題 過去問題演習④	裁判所事務官過去問題		
20	総合問題 過去問題演習⑤	裁判所事務官過去問題		
21	総合問題 過去問題演習⑥	刑務官過去問題		
22	総合問題 過去問題演習⑦	刑務官過去問題		
23	総合問題 過去問題演習⑧	入国警備官過去問題		
24	総合問題 過去問題演習⑨	海上保安学校過去問題		
25	総合問題 過去問題演習⑩	各種過去問題まとめ		
26	総合問題 過去問題演習⑪	各種過去問題まとめ		
27	総合問題 過去問題演習⑫	各種過去問題まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「絶対合格シリーズ」社会科学 問題集編 各種公務員試験過去問題		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】本時の演習单元について、事前に学習した講義内容について復習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人文科学 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	三木 俊司

授業の概要

公務員試験における地理分野、日本史分野、世界史分野、倫理分野について学習し、本試験で問題を解く力を身に付ける

＜地理分野は徳島校からの遠隔授業を利用する＞

以下の1、2を繰り返し行うことで、地理分野の頻出事項を確実に暗記し、公務員試験の得点源とすることが目的。

1. 講義(科目担当作成分のプリントを使用)を受けた上で復習、暗記をし、知識のインプットを行う。
2. 記述問題、5択問題の答練にあたり、知識のアウトプットを行う。

授業終了時の到達目標

地理分野、日本史分野、世界史分野、倫理分野で6割以上得点できる

回	テーマ	内容
1	地理 1. Lesson1:自然環境①	(1)大地形 ・安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯 (2)小地形 ・侵食平野(準平原、構造平野) ・堆積平野(沖積平野、洪積台地) ・海岸の地形(離水海岸、沈水海岸)
2	日本史 1. 縄文・弥生・古墳時代、律令国家	縄文時代弥生時代の特色、中国との関係 律令国家の成り立ち
3	世界史 1. 古代文明	四大文明 古代ギリシア、古代ローマ
4	地理 2. Lesson1:自然環境②	(2)小地形 ・特殊な海岸地形 ・特殊な地形(カルスト地形、氷河地形、乾燥地形、火山地形) (3)大気・海流・水
5	日本史 2. 武家社会の変遷	武士の発生から鎌倉幕府の成り立ち 鎌倉仏教
6	世界史 2. ローマ帝国とキリスト教、ヨーロッパ社会の形成	ゲルマン民族の大移動 キリスト教の誕生と発展
7	地理 3. Lesson2:気候・土壌①	(2)ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフ (3)土壌 ・成帯土壌、間帯土壌 ※自然環境、気候・土壌 確認問題
8	日本史 3. 武家社会の変遷	室町幕府の仕組み 室町時代の主な将軍と政治
9	世界史 3. 中世ヨーロッパ世界と近代への 発展	封建社会の成立と法夏季 西ヨーロッパ諸国の形成と発展
10	地理 4. 気候・土壌② ※Lesson1、2 確認問題	(2)ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフ (3)土壌 ・成帯土壌、間帯土壌 ※自然環境、気候・土壌 確認問題

回	テーマ	内容
11	日本史 4. 戦国大名と織豊政権	戦国大名、織田信長、豊臣秀吉
12	世界史 4. 中世ヨーロッパ世界と近代への 音題は	ローマカトリック教会の発展、十字軍 ルネサンスと宗教改革
13	地理 5. Lesson3 : 民族・人口・交通・ 地図	(1) 地図 ・ 正積図法、正角図法、正方位図法 (2) 人口 ・ 人口、人口動態、人口問題 (3) 民族 ・ 主な人種問題、主な先住民族、各国の民族問題
14	日本史 5. 幕藩体制	江戸幕府の成り立ち、仕組み 3大改革
15	世界史 5. 絶対王政と市民革命	絶対王政下での各国の動向 市民革命（清教徒革命、名誉革命）
16	地理 6. ※Lesson3 確認問題 lesson4 : 世界の農林水産業	※民族・人口・交通・地図、世界の農林水産業、世界の鉱 工業 確認問題 (1) 農牧業 ・ 自給的農業、商業的農業、企業的農業 ・ 主な農産物 (2) 林業、水産業
17	倫理 1. 西洋の思想（古代、近代）	自然哲学者 ソクラテス、プラトン、アリストテレス
18	倫理 2. 西洋の思想（近代、現代）	ベーコン、デカルト、帰納法、演繹法 功利主義、実存主義
19	地理 7. Lesson4 : 世界の農林水産業 ※Lesson4 確認問題	(3) 各国の農業 ・ ヨーロッパ、中国、アメリカの農業の特徴について ※世界の農林水産業 確認問題
20	日本史 6. 幕藩体制	江戸時代後半 開国から通商条約締結
21	世界史 6. 絶対王政と市民革命	市民革命（アメリカ独立革命、フランス革命） 産業革命
22	地理 8. Lesson5 : 世界の鉱工業	(1) エネルギー資源 ・ 石炭、石油、天然ガス、電力 (2) 鉱産資源 ・ 鉄鉱石、非鉄金属 (3) 主な国の鉱工業の特徴
23	日本史 7. 明治時代	明治維新、富国強制、殖産興業
24	世界史 7. 列強の帝国主義政策	フランス革命後の各国の動向 ウィーン体制
25	地理 9. ※Lesson5 確認問題 Lesson6 : アフリカ地誌	※世界の鉱工業 確認問題 (1) アフリカ 地勢、気候、民族・内乱、農業、鉱工業
26	日本史 8. 明治時代	自由民権運動、大日本帝国憲法 帝国議会開設、日清戦争、日露戦争
27	世界史 8. 列強の帝国主義政策	列強の帝国主義政策 東南アジアの植民地化
28	地理 10. Lesson6 : アジア地誌	(1) 中国 地勢、気候、農業、民族、鉱工業 (2) 東南アジア 地勢、気候、農業、ASEAN、各国の特徴、鉱工業 (3) 南アジア、西・中央アジア 地勢、気候、農業、民族・宗教、鉱工業

回	テーマ	内容		
29	日本史 9. 大正時代～昭和初期	大正時代の内閣、大正デモクラシー 第一次世界大戦		
30	世界史 9. 第一次世界大戦後	大戦に至る列強の対立構造 国際連盟の設立		
31	地理 11. Lesson7: ヨーロッパ、ロシア 地誌	(1) ヨーロッパ 地勢、気候、民族・宗教、農業、鉱工業、EU、各国の特徴 (2) ロシア 地勢、気候、農業、民族紛争、GIS、鉱工業		
32	日本史 10. 大正時代～昭和初期	第二次世界大戦から冷戦へ		
33	世界史 10. 第二次世界大戦～現代	世界恐慌から第二次世界大戦 戦後の国際社会		
34	地理 12. Lesson8: 南北アメリカ地誌	(1) アングロアメリカ、ラテンアメリカ ・地勢、気候、人種・民族、農業、鉱工業、各国の特徴		
35	倫理 3. 東洋の思想	儒家、道家、墨家、法家 朱子学、陽明学、古学、国学		
36	倫理 4. 日本の思想	古学、国学 倫理まとめ確認テスト		
37	地理 13. Lesson8: オセアニア地誌 ※Lesson6～8 確認問題	(1) オーストラリア、ニュージーランド 地勢、気候、農業、鉱工業（産業） ※アフリカ、アジア、ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア地誌 確認問題		
38	日本史 11. 第二次世界大戦後の諸改革	戦後の日本の改革 高度経済成長期		
39	世界史 11. 第二次世界大戦～現代	東西冷戦構造		
40	地理 14. Lesson9, 10: 日本の自然・貿易、産業	(1) 日本の自然・貿易 ・日本の気候、人口、領土問題、主な河川・平野・盆地、貿易相手 (2) 日本の産業 ・農業、林業、水産業、鉱工業について		
41	日本史 12. テーマ史	文化史		
42	世界史 12. 中国の歴史	各王朝の成り立ちと出来事		
43	地理 15. 確認テスト	まとめテスト		
44	日本史 13. 日本史まとめ	日本史まとめ確認テスト		
45	世界史 13. 世界史まとめ	世界史まとめ確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務教育出版 人文科学テキスト, 人文科学演習ブック, 人文科学確認ワーク 「新詳高等地図」 帝国書院, 「新詳資料地理の研究」 帝国書院, 「地理用語集」 山川出版社		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】本時学習する単元について、テキストを事前に読み、疑問点、質問事項を整理しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人文科学演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	27回	1単位(54時間)	必須	三木 俊司
授業の概要				
公務員試験における地理分野、日本史分野、世界史分野、倫理分野について各講義で学んだことを、過去問題を問題を解くことで、得点力を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
地理分野、日本史分野、世界史分野、倫理分野で6割以上得点できる				
回	テーマ	内 容		
1~2	地理(気候・土壌・風)、日本史(古代)、世界史(古代)	過去問題演習 P156~P165, P6~P11, P82~P89		
3~4	地理(地形)、日本史(中世)、世界史(中世)	過去問題演習 P166~P171, P12~P19, P90~P95		
5~8	地理(地図・時差)、日本史(近世)、世界史(宗教改革と近世ヨーロッパ)、倫理(近代以前の哲学)	過去問題演習 P172~P181, P20~P37, P96~P103, P278~P283		
9~11	地理(植生・農業)、日本史(近代)、世界史(市民革命)	過去問題演習 P182~P191, P38~P55, P104~P111		
12~14	地理(産業・貿易・発電)、日本史(現代)、世界史(産業革命と帝国主義)、倫理(近代以降の哲学)	過去問題演習 P192~P201, P56~P59, P112~P121, P284~P299		
15~17	地理(日本)、日本史(文化史)、世界史(二つの世界大戦)	過去問題演習 P202~P213, P60~P73, P128~P135		
18~20	地理(アジア・アフリカ)、日本史(分野横断問題)、世界史(第二次世界大戦後・冷戦)、倫理(東洋の哲学)	過去問題演習 P214~P223, P74~P80, P128~P135, P300~P305		
21~22	地理(ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア)、世界史(中国史)	過去問題演習 P224~P237, P136~P147		
23~25	地理(人口・海流農業・環境・地名・民族)、世界史(中国近現代史)、倫理(日本の思想)	過去問題演習 P238~P252, P148~P154, P306~P135		
26	地理・日本史まとめ確認テスト	地理・日本史まとめ確認テスト		
27	倫理・世界史まとめ確認テスト	地理・日本史まとめ確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「絶対合格シリーズ」人文科学 問題集編		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】本時の演習単元について、事前に学習した講義内容について復習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自然科学 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
公務員試験の自然科学分野を理解し、公務員試験で得点できる力を身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
公務員試験本試験の自然科学分野で5割以上の得点を目指す。				
回	テーマ	内容		
1	物理分野 1. 力のつりあい	ばね、浮力、作用・反作用 力のつりあい、力の合成と分解、張力		
2	物理分野 2. 物体の運動	等加速度運動 水平投射運動、自由落下運動		
3	物理分野 3. エネルギーと運動量	運動量保存の法則 運動エネルギー・位置エネルギー、力学的エネルギーの保 存		
4	物理分野 4. 電流と磁界	オームの法則、直列・並列接続 電力とジュール熱、電力の作る磁界		
5	化学分野 1. 物質の構成	物質の構成、分離 原子		
6	化学分野 2. 元素の周期表	元素の周期表		
7	化学分野 3. 化学反応と物質質量	化学の基本法則、原子量・分子量と物質質量 化学反応式の量的関係		
8	化学分野 4. 物質の状態	物質の状態変化、ボイル・シャルルの法則 水溶液について		
9	生物分野 1. 細胞と組織	細胞の構造、働き、性質		
10	生物分野 2. 光合成	光合成の過程、光の強さと植物の生活		
11	生物分野 3. 酵素・呼吸	酵素の性質、ATP、呼吸		
12	生物分野 4. 刺激と反応	受容体、目・耳の構造と働き 神経系、興奮の殿堂と伝達、ヒトの脳の働き		
13	地学分野 1. 地球の働き	星の日周運動、年周運動 大洋の1年の動き、地球の公転と季節変化		
14	地学分野 2. 太陽系	太陽系、ケプラーの法則		
15	地学分野 3. 地震	地震波、P波、S波 地震のエネルギーと分布		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務教育出版テキスト・確認ワーク・演習ブック		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】 事前配布のテキストにて次回授業までに予習を行うこと。また復習に関しては演習ブック

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自然科学演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	27回	1単位(54時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
公務員試験の自然科学分野を理解し、公務員試験で得点できる力を身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
公務員試験本試験の自然科学分野で5割以上の得点を目指す。				
回	テーマ	内容		
1	<物理分野> 力	力とは、力の単位、力の合成と分解、力の釣り合い、運動の法則		
2	<物理分野> 滑車・天秤・ばね・浮力	滑車の種類、天びんに掛かる力、フックの法則、浮力		
3	<物理分野> 物体の運動	等速度運動、等加速度運動、物体の落下運動		
4	<物理分野> 仕事・力学的エネルギー・熱量	仕事と仕事率、力学的エネルギー、熱量		
5	<物理分野> 電気	オームの法則、電気回路、電力とジュール熱、電流と磁場		
6	<物理分野> 波動	波の基本用語、音の性質、光の性質、波の性質		
7	<化学分野> 物質の構造	物質の分類、原子・電子構造、イオン		
8	<化学分野> モル・化学反応式	モルとは、化学反応式の作り方、基礎法則		
9	<化学分野> 酸と塩基	酸と塩基構造、中和反応、中和滴定		
10	<化学分野> 酸化・還元	定義、酸化数、酸化剤と還元剤、イオン化傾向、電気分解		
11	<化学分野> 周期表	元素の周期律、同族元素		
12	<化学分野> 気体	気体の物理的性質、気体の捕集、気体の特徴		
13	<化学分野> 気体・金属の性質	金属の性質、精製		
14	<生物分野> 生体の作り	細胞の基本構造と働き		
15	<生物分野> 細胞分裂、生殖	細胞分裂の仕組み、生殖法		

回	テ ー マ	内 容		
16	<生物分野> 遺伝	メンデルの法則、遺伝子、核酸、タンパク質合成		
17	<生物分野> 酵素	酵素の性質、種類		
18	<生物分野> 光合成	光合成の仕組み、窒素同化と窒素固定		
19	<生物分野> 呼吸	代謝とエネルギー、呼吸		
20	<生物分野> 刺激と反応	人の神経系、受容体		
21	<生物分野> 恒常性と性質	体液、臓器の働き		
22	<地学分野> 地球の内部	地球の形、重力、地球の層構造、地殻		
23	<地学分野> 地震	地震の発生、原因、プレート、断層と褶曲		
24	<地学分野> 岩石、火山	岩石、火成岩、堆積岩、変成岩、マグマと火山活動		
25	<地学分野> 大気の種類	気圏、大気の循環、湿度、地球の熱収支		
26	<地学分野> 天気	気団、前線、高気圧と低気圧、四季、風の種類		
27	<地学分野> 地球の運動	天体の日周運動、地球の自転・公転、太陽の運動		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務教育出版テキスト・演習ブック・確認ワーク		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】 事前配布のテキストにて次回授業までに予習を行うこと。また復習に関しては演習ブック

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
数的推理(遠隔)		公務員学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
<p>本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけられる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、課題解決手法の習得を通じて問題の本質を見極めることに関心が高まると同時に他領域への学習意欲が高められることをねらいとする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>①出題文から課題を適切に読み取り、②解決手法を試行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスをとることができることを目標とする。また、具体的結果として数的推理分野の正答率6割以上を目標とする。</p>				
回	テーマ	内容		
1	方程式と不等式	①一次方程式②二次方程式③不等式		
2	速度問題の基本	①速さの3式②流水・通過算③時計算		
3	速度問題の応用	①速さの3式②流水・通過算③時計算		
4	割合①	①比②増減		
5	割合②	①濃度②仕事算		
6	方程式・速度・割合演習	①総合演習		
7	場合の数と確率	①場合の数②順列③組合せ④確率		
8	整数①	①倍数と約数		
9	整数②	①さまざまな整数問題		
10	整数③	①数列・規則②魔方陣など		
11	図形①	①角度②三角形		
12	図形②	①図形の比と相似②円と扇形		
13	図形③	①立体②展開図		
14	資料解釈	①図表②グラフ		
15	確認テスト	確認テスト		
教科書・教材		評価基準		評価率
<p>①ポイントマスター数的推理・資料解釈：TAC出版 ②必要に応じて補助教材を配布することができる。</p>		<p>出席率 確認テスト</p>		<p>50.0% 50.0%</p>
<p>授業において紹介する解法を、例題を確実に理解し、遠隔ではない問題演習の時間の類題をしっかりと解くことでマスターしていただきたい。</p>				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
判断推理 (遠隔) I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
<p>「判断推理」は、公務員試験特有の科目で、公的な業務に必要な条件処理能力の適正を見るものである。たとえば、複数の場合が存在するときには正確に場合分けをする。あらゆる場合を検討し確実に言えること言えないことをはっきり判断する。このように、「判断推理 (論理)」は、クイズ・パズル的とも言える問題に接して「柔軟な思考力と迅速な判断能力」を身につける授業である。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>国家公務員、地方公務員、警察官、消防官などの初級 (高卒) レベルの過去問が解け、本試験において8割以上の得点を目指す。</p>				
回	テーマ	内容		
1	授業概要説明 論理	授業の進め方および成績評価について 命題と真偽による解法、命題とベン図による解法		
2	集合・人数	ベン図、キャロル図、線分図の3つの解法を習得する。		
3	発言推理 (うそつき)	発言内容に「うそ」が含まれる発言推理の問題において3つのパターンをマスターする。		
4	対応関係	判断推理における主要分野である対応関係について、対応表の書き方をマスターする。また、場合分けや間接的な表現についても演習問題を通して慣れる。		
5	順序関係 1	順位、体重、身長、年齢、時刻など順番に並べて考える問題について、数直線やブロック化技法にて解けるようになる。		
6	順序関係 2	順序が変動する問題や、大小関係がなく「差」が与えられたときの解法と時刻と時計のずれに関する演習問題。		
7	試合・勝敗	試合におけるリーグ戦とトーナメント戦における問題解法をマスターする。		
8	位置・方位	マンションや駐車場、座席の位置関係に関する問題演習と東西南北に関する方位に関する解法をマスターする。		
9	手順	天秤ばかりに関する問題、油分け算、ハノイの塔、定員ありの移動問題。		
10	道順・位相	最短経路の道順解法や一筆書き問題に関する演習。		
11	展開図	立体図形の展開図に関する問題、サイコロに関する問題。		
12	軌跡	直線や円周上を図形が転がる際に特定の点が描く軌跡を求める。		
13	空間図形の分割	少立方体を集めてできた立体に色を塗ったり、串刺ししたり、平面で切断した際の断面に関する問題演習。		
14	多面体・切断・回転 空間図形の投影	正多面体における図形の特徴や図形の切断面とその形、また平面図形を回転させた際にできる立体図形に関する問題		
15	確認テスト	これまでの学習したテーマからの出題による確認テストの実施。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オリジナルテキスト・教材一式		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	遠隔授業の特性 上、この授業だけでは十分な問題演習時間の確保ができません。よって、各校にて準備

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
一般知能演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	57回	3単位(114時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
初級公務員試験において、重要な得点源となる判断推理と数的推理に関する演習問題を過去問を中心に進めていく。				
授業終了時の到達目標				
判断推理：80%以上の得点 数的推理：50%以上の得点				
回	テーマ	内容		
1	判断推理「論理1」	「ベン図」、「標準形」、「穴埋め」、「左または右かつ」による解法演習		
2	判断推理「論理2」 判断推理「折り紙」	「ベン図」、「標準形」、「穴埋め」、「左または右かつ」による解法演習 図形分野「逆順に書き込む」		
3	判断推理「論理3」	「ベン図」、「標準形」、「穴埋め」、「左または右かつ」による解法演習		
4	判断推理「集合・人数」 判断推理「道順・位相」	ベン図、キャロル図による解法演習 図形分野「最短経路」		
5	判断推理「うそつき」	犯人探し、グループ分け、半分半分、発言矛盾による解法演習		
6	判断推理「対応関係1」 判断推理「展開図1」	対応表、3つ以上の事柄による解法演習 図形分野「正四面体と正八面体」		
7	判断推理「対応関係2」	対応表、3つ以上の事柄による解法演習		
8	判断推理「対応関係3」 判断推理「展開図2」	対応表、3つ以上の事柄による解法演習 図形分野「サイコロ」		
9	判断推理「順序関係1」	樹形図、わかか、ブロック化、数直線による解法演習		
10	判断推理「順序関係2」 判断推理「平面図形1」	時刻と時計のズレ、順序の比較による解法演習 図形分野「重ね合わせ・断片組み立て」		
11	判断推理「試合・勝敗」	リーグ戦とトーナメント戦による解法演習		
12	判断推理「位置・方位1」 判断推理「平面図形2」	テーブル、住宅地、方位による解法演習		
13	判断推理「位置・方位2」	テーブル、住宅地、方位による解法演習		
14	判断推理「位置・方位3」 判断推理「軌跡」	テーブル、住宅地、方位による解法演習 図形分野「点移動・軌跡」		
15	判断推理「暗号」	アルファベット、50音表による解法演習		

回	テーマ	内容
16	判断推理「手順1」 判断推理「空間図形の分割」	偽金、天秤、ハノイの塔による解法演習 図形分野「色塗り、串刺し」
17	判断推理「手順2」	作業工程による解法演習
18	判断推理「暦・カレンダー」 判断推理「多面体・切断・回転」	曜日当てによる解法演習 図形分野「回転体の形」
19	判断推理「数量推理1」	方程式、○?問題、時差による解法演習
20	判断推理「数量推理2」 判断推理「空間図形の投影」	方程式、○?問題、時差による解法演習
21～ 31	判断推理実践演習	論理および図形分野の問題による総合演習
32	数的推理「濃度」	2・3種類の混合、移し替え
33	数的推理「年齢」	年齢問題の基本、複数の基準
34	数的推理「売買損益」	定価と原価の関係、個数を考慮した売買
35	数的推理「平均」	グループ内の平均問題
36	数的推理「一次方程式」	=の関係、全体数の分割、相当算
37	数的推理「連立方程式」	2つ、3つ、4つ以上の文字、過不足算
38	数的推理「不定方程式」	○文字と○式、4文字以上
39	数的推理「旅人算」	出会い算、追い越し算
40	数的推理「通過算」	固定されたものの通過、動くものの通過
41	数的推理「流水算」	同じ距離の上り下り、動く歩道
42	数的推理「時計算」	指定された時刻、線対称な針
43	数的推理「その他の速さ問題」	区間分割、平均の速さ、忘れ物による往復
44	数的推理「不等式」	2項目の大小関係、過不足算の不等式、売買損益の不等式、勝敗ライン
45	数的推理「ニュートン算」	窓口、給排水

回	テーマ	内 容		
46	数的推理「仕事算」	個別の仕事量、延べ算		
47	数的推理「比と割合」	値下げ額の割合、時刻と時間、倍数算		
48	数的推理「基数法」	基数変換		
49	数的推理「約数・倍数」	最小公倍数、割る数とあまり、最大公約数、約数の個数、素数		
50	数的推理「整数」	素因数分解 覆面の計算式、連続する整数、各桁の操作		
51	数的推理「魔法陣」	3?3、4?4、魔辺三角形		
52	数的推理「覆面算・虫食い算」	加減の筆算、掛け算の筆算		
53	数的推理「数え上げと順列」	樹形図、整数作成、配色、同じものを含む順列、円順列、数珠順列		
54	数的推理「順列と組み合わせ」	余事象、組み合わせ、順列と組み合わせ、仕切り法		
55	数的推理「確率（順列と組み合わせ）」	順列、組み合わせ、数え上げ		
56	数的推理「確率（排反・独立）」	排反事項と独立試行、余事象		
57	数的推理「確率（反復・条件付き・期待値）」	反復試行、条件付き確率、期待値		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
絶対合格シリーズ「判断推理」、絶対合格シリーズ「数的推理」		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	【準備学習】 事前配布のテキストにて次回授業までに予習を行うこと。また復習に関しては演習ブック

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公務員総合演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	三木 俊司/各官公庁から講師派遣
授業の概要				
<p>公務員試験の概要、受験計画を立てる 各種公務員の説明会の開催 公務員二次試験の面接に向け、志望理由、学生時代に取り組んだことなど、代表的な質問項目についてまとめる 就職活動の基本的なルールを学習する 公務員二次試験に合格できる知識、技能を習得する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>公務員試験の概要を知り、受験計画を立てることができる 税務、国土交通省など現職の公務員の方に講話を頂き、職種理解を深める 面接カードの準備ができる 面接の基本マナーを身に付ける 二次試験に合格できる対応ができる</p>				
回	テーマ	内容		
1	公務員試験について	公務員試験全般について		
2	海上保安学校(特別)の申込	国家公務員全般の申込について、海上保安学校の申込を通して理解する		
3	受験計画の立て方	日程の確認 受験計画表の記入		
4	税務職員の説明会	税務職員の方にご来校いただき、説明会を開催		
5	自己分析	自身の適性を知る 長所・短所		
6	受験日程及び、申込み日程の確認	受験計画表の確認 受験予定先の申込日程の確認		
7	自衛隊についての説明会	自衛隊の方にご来校いただき、説明会を開催		
8	国土交通省の説明会	国土交通省の方にご来校いただき、説明会を開催		
9	国家公務員および税務の申し込み	全員で国家一般職および税務職員の申し込みを行う		
10	刑務官の説明会	刑務官にご来校頂き、説明会を開催		
11	香川県警察の説明会	香川県警察の方にご来校頂き、説明会を開催		
12	面接カード練習	自己PR、趣味、アルバイト		
13	面接カード練習	志望動機 関心事項		
14	面接練習	面接に対する心構え、マナー 入退室		
15	面接練習	集団面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公務員データブック 面接対策教材		出席率 課題・レポート	80.0% 20.0%	【準備学習】各職種の説明会の際には、質問事項を覚えておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
総合答練 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	107回	7単位(214時間)	必須	上井 宗大
授業の概要				
全国で行われる模試を解き、自分の実力を知る 成績に応じた受験先の意思決定の参考にする				
授業終了時の到達目標				
目標の受験先の一次試験合格				
回	テーマ	内容		
1~ 2	第1回校内模試	第1回校内模試		
3~ 4	第1回公開模試・作文	第1回公開模試・作文		
5~ 6	第2回校内模試	第2回校内模試		
7~ 8	第3回校内模試	第3回校内模試		
9~ 10	第2回公開模試・作文	第2回公開模試・作文		
11~ 12	第4回校内模試	第4回校内模試		
13~ 14	第3回公開模試・作文	第3回公開模試・作文		
15~ 16	第5回校内模試	第5回校内模試		
17~ 18	第6回校内模試	第6回校内模試		
19~ 20	第4回公開模試・作文	第4回公開模試・作文		
21~ 22	第7回校内模試	第7回校内模試		
23~ 24	高卒・短大卒公務員模試	高卒・短大卒公務員模試		
25~ 26	警察官・消防官模試	警察官・消防官模試		
27~ 28	第5回公開模試・作文	第5回公開模試・作文		
29~ 30	第8回校内模試	第8回校内模試		

回	テ ー マ	内 容		
31～ 32	第9回国家一般職模試	第9回国家一般職模試		
33～ 34	第10回警察官模試	第10回警察官模試		
35～ 36	第11回市役所消防模試	第11回市役所消防模試		
37～ 38	第12回地方初級模試	第12回地方初級模試		
39～ 40	第13回校内模試	第13回校内模試		
41～ 42	第14回校内模試	第14回校内模試		
43～ 73	ウイネット校内模試 1～15	ウイネット校内模試 1～15		
74～ 84	大原公開模試 1～5	大原公開模試 1～5		
85～ 92	大原消防模試 1～4	大原消防模試 1～4		
93～ 100	大原警察模試 1～4	大原警察模試 1～4		
101 ～ 107	大原一般職模試 1～3	大原一般職模試 1～3		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務教育出版模擬試験 ウイネット模擬試験 大原模擬試験		出席率	100.0%	【事前学習】日々の授業ノート等による予習・復習の徹底を行うこと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
体育 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位(46時間)	選択	上井 宗大
授業の概要				
公安系公務員試験における体力試験で高得点できる体力を身に付ける。 体力試験種目ごとの記録を計測・記録し、相互に競い合い自己記録を伸ばす努力をする。				
授業終了時の到達目標				
公安系公務員試験における、体力試験で高得点が出せるようにする。 チームワークの練習や健康な体作りを目指す。				
回	テーマ	内 容		
1	公安系体力試験の試験概要 柔軟性ストレッチング	体力試験の内容把握 ストレッチ手法		
2	計測	上体起こし、腕立て伏せ、握力、長座体前屈、反復横跳び		
3	走カトレーニング	ランニング シャトルラン計測		
4	チーム競技	バスケットボール		
5	筋カトレーニング	ダンベル、腹筋・背筋、握力測定		
6	敏捷性トレーニング	反復横跳び 折り返し走		
7	垂直飛び	垂直飛び計測 筋力計測		
8	チーム競技	バレーボール		
9	走カトレーニング	ランニング リレー		
10	柔軟性ストレッチング 筋カトレーニング	上体起こし 腕立て伏せ		
11	筋カトレーニング	握力 立ち幅跳び		
12	チーム競技	バスケットボール		
13~ 14	模擬体力測定	模擬試験体力測定		
15	走カトレーニング	ランニング 30mダッシュ		
16	チーム競技	バレーボール		

回	テーマ	内 容		
17	筋力トレーニング	立ち幅跳び 上体起こし		
18	敏捷性トレーニング	反復横跳び バーピーテスト		
19	チーム競技	卓球		
20~ 23	模擬体力測定	模擬体力測定		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		出席率	100.0%	【事前準備】とく になし

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
事務系試験対策 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位(46時間)	選択	三木 俊司
授業の概要				
事務系の試験対策として、大原・ウイネットの模擬試験を行う				
授業終了時の到達目標				
一次試験の合格点を目指す学力を身に付ける 時間配分、解答順など自分なりの解法を身に付ける				
回	テーマ	内 容		
1	模擬試験	ウイネット校内模試第1回		
2	模擬試験	ウイネット校内模試第2回		
3	模擬試験	大原模試第1回		
4	模擬試験	ウイネット校内模試第3回		
5	模擬試験	ウイネット校内模試第4回		
6	模擬試験	大原模試第2回		
7	模擬試験	ウイネット学内模試第5回		
8	模擬試験	ウイネット学内模試第6回		
9	模擬試験	大原模試第3回		
10	模擬試験	ウイネット校内模試第7回		
11	模擬試験	ウイネット校内模試第8回		
12	模擬試験	大原模試第4回		
13	模擬試験	ウイネット校内模試第9回		
14	模擬試験	ウイネット校内模試第10回		
15	模擬試験	大原模試第5回		

回	テ ー マ	内 容		
16	模擬試験	ウイネット校内模試第11回		
17	模擬試験	ウイネット校内模試第12回		
18	模擬試験	大原模試第6回		
19	模擬試験	ウイネット校内模試第13回		
20	模擬試験	ウイネット校内模試第14回		
21	模擬試験	大原模試第7回		
22	模擬試験	ウイネット校内模試第15回		
23	模擬試験	大原模試第8回		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
各種模擬試験問題		出席率 課題・レポート	80.0% 20.0%	【準備学習】弱点 ジャンルについて、 前回までの模試で間違っ た問題の見直しを しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パソコン演習 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	21回	1単位(42時間)	必須	武田 雅恵

授業の概要

WordとExcelは優しい操作性と優れた機能を兼ね備えたアプリです。wordで ビジネス文書を作成し、Excelで顧客管理を行うなど、日々のビジネスシーンで欠かせない存在となっています。当授業では、両ソフトの基本的機能を解説し、アプリを連携して、データを共有させるなど仕事に必要なスキルを効率よく学習していきます。

授業終了時の到達目標

ワード文書処理技能認定試験3級
Excel表計算処理技能認定試験3級

回	テーマ	内容
1	Wordの基本機能	画面構成、表示モード
2	文書を作成しよう	文字入力、効率的な入力技法、文字編集、文書体裁、印刷
3	グラフィック機能	ワードアート、画像挿入、文字効果、ページ罫線
4	表のある文書作成	表作成、表のレイアウト作成、表の書式設定、段落罫線
5	Word演習	演習問題
6	Excelの基本機能	画面構成、表示モード、セル参照
7	データを入力しよう	ブック新規作成、データ入力、オートフィル機能
8	表を作成しよう	関数、セル参照方式表の書式、表の印刷
9	グラフ作成	グラフ機能、各種グラフ
10	データを分析しよう	テーブル変換、並べ替え、抽出、条件付き書式
11	アプリ間でのデータ共有	エクセルとWordの連携、差し込み印刷
12~17	ワード文書処理技能認定試験3級演習	練習問題、模擬問題
18~21	Excel表計算処理技能認定試験3級問題	練習問題、模擬問題

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
よくわかるWord2016&Excel2016	出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	実習・実技評価： ExcelまたはWordの 検定試験の点数に より評価する。 ＜事前学習＞各自 でタイピング練習 に取り組んでおく こと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公務員受験対策 I		公務員ビジネス学科/1年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	21回	1単位(42時間)	必須	三木 俊司
授業の概要				
次年度、進級の上で引き続き公務員試験合格を目指すために教養試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
模擬試験平均6割以上				
回	テーマ	内容		
1~3	進捗管理表作成 ワーク	後期期間内における授業で各自取り組む内容を計画 各自演習		
4~5	模擬試験	教養試験模試		
6~8	各自演習	スケジュールに沿っての演習と採点		
9~10	模擬試験	教養試験模試		
11~13	各自演習	スケジュールに沿っての演習と採点		
14~15	模擬試験	教養試験模試		
16~17	各自演習	スケジュールに沿っての演習と採点		
18~19	模擬試験	教養試験模試		
20~21	各自演習	スケジュールに沿っての演習と採点		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		出席率 課題・レポート	80.0% 20.0%	【準備学習】各 自、本時の演習内 容を確認しておく